

学校・家庭・地域の強い絆づくり

～「日本一学びが好きな町」をめざして～

【下関市 川中中学校区】

地域の概要

下関市街地の北西部に位置し、西に響灘を望む風光明媚な地です。また、交通の便もよく、校区内には団地やマンションが多く、更に学校近隣には大型商業施設や金融施設が立ち並ぶなど、住宅地、商業地域として発展してきました。川中中学校を拠点として、中学校区内には川中小学校、熊野小学校の二つの小学校があります。

人口	20,533 人	
世帯数	9,271 世帯	
対象校及び 児童生徒数	川中中学校	656 人
	川中小学校	637 人
	熊野小学校	825 人

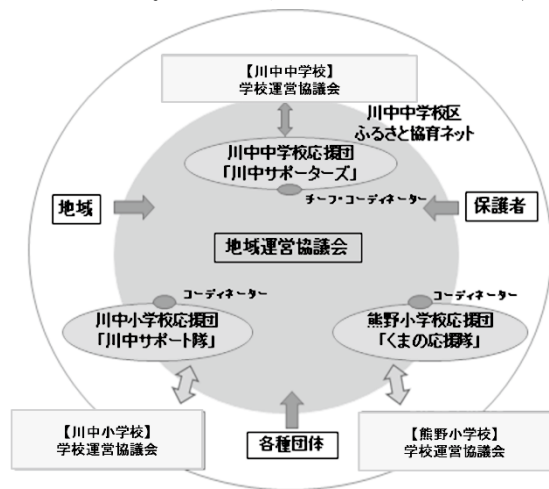
組織の内容

「ふるさと下関協育ネット事業」の委託を受けた「川中中学校区ふるさと協育ネット」は、平成 24 年度に立ち上がりました。学校・家庭・地域の強い絆をつくりだし、それぞれがもつ力を結集し、互いが協力しながら子どもたちの育ちや学びを支援していこうという目的で始まった取組は、本年度 4 年目を迎えました。昨年度までの 3 年間の取組により、「地域ぐるみで子どもを育てる」形がずいぶん定着してきたと感じます。

拠点となる川中中学校は、平成 22 年に教科センター方式を取り入れた新しい中学校として移転、新築されました。建設時の重要なコンセプトとして「より地域にオープンな学校」を掲げ、校舎内には地域の方々が気軽に利用できる「地域交流ラウンジ」を備えています。そのラウンジを拠点として、学校応援団「川中サポーターズ」が活動をしています。

それぞれの小学校にも「川中サポート隊」「くまの応援隊」が組織されており、環境・安全整備支援、学習支援、体育・文化・芸術支援、学校行事や諸活動への支援など、年々活動の幅を広げています。

また、それぞれの学校の学校運営協議会の代表者で組織する 3 校合同の「地域運営協議会」が昨年度発足し、2 年目を迎えています。中学校区全体で子どもを育てるという視点から「育てたい子ども像」を共有し、中学校のコーディネーターをチーフとして、それぞれの小学校のコーディネーターとも連携を図りながら、各校の学校運営協議会・学校応援団同士の交流や協働を深めています。



特色・重点的な取組

昨年度から組織している「地域運営協議会」において、「3校の連携を強化し、中学校区で子どもたちの育ちを支援する組織をつくること」を重点的な取組として掲げ、「日本一学びが好きな町」を川中地域の目標とし、学校・家庭・地域ができることについて話し合いを重ねています。更に本年度から、中学校区内の小・中3校で共通の学校教育目標「日本一学びが好きな学校」を掲げて、互いに連携を図りながら9年間の育ちを意識して学校運営に取り組んでいます。

本年度は特に、地域全体で「あいさつ」の活性化に重点をおき、「0（礼）のつく日はあいさつ運動」と定め、各学校を拠点に、地域ぐるみであいさつ運動を展開しています。



主な活動の紹介

【川中小学校 緊急時児童引き渡し訓練】

11月に緊急時児童引き渡し訓練を実施しました。学校、PTA、自治会、学校運営協議会委員、ボランティア等が連携して行い、学校・家庭・地域が一体となって児童の安全を守っていく必要性を共有することができました。



訓練の様子

【川中小学校 農業体験学習】

今年度も、食農教育の一環として、2年生がサツマイモ、3年生がダイコン、5年生がジャガイモを育てました。植え方や育て方、収穫について、農業指導員や地域ボランティアが指導しました。収穫後も、「感謝の会」で更にふれあいが深まりました。

【熊野小学校 実習支援】

2年生の生活科「やさいづくり」において、野菜づくりについての指導依頼があり、「くまの応援隊」のメンバーが子どもたちに指導や助言をしました。また、一緒に畑を耕したり、除草作業をしたりすることで、貴重なふれあいの時間となりました。収穫後の「おいもパーティー」では、一緒に収穫を喜び合いました。



プール清掃

【熊野小学校 環境整備支援】

6月、水泳学習が始まる前にプール掃除を6年生が行っていますが、本年度は「くまの応援隊」のメンバーも加わり、児童と一緒に行いました。大勢で取り組んだので、予定時間よりも早く掃除を終えることができました。きれいなプールで気持ちよく水泳学習ができました。

【川中中学校 夜間中学】

地域の方を対象とした公開講座を開いており、参加者の連絡調整を行っています。中学校の授業がどのようなものを体験していただくとともに、学校の様子を知ってもらう良い機会にもなっています。



夜間中学

【川中中学校 放課後サロン】

「川中サポーターズ」が月曜日の放課後に希望する生徒を募り、ふれあい活動を行っています。自主学习や宿題の手伝いをしたり、一緒に手芸をしたりしながら、放課後を楽しくゆったりと過ごしています。

成果と課題

「地域運営協議会」が軌道に乗り、更に共通の学校教育目標を掲げ、3校のコミュニティ・スクールが同じ方向をめざして、9年間の育ちを意識した学校運営を行うことができるようになりました。7月には、地域運営協議会とPTAの協働による「熟議」を行い、参加者は、約130名にのびりました。討議が深まるにつれ、皆同じ目標に向かっていくことが実感でき、それぞれの立場でできることを実践していくという共通理解を図ることができました。今後は、取組をいかに具体化していくかが課題と考えています。



今後の取組

来年度は「まちづくり協議会」が発足します。地域の拠点となるコミュニティ・スクールとして、連携した取組ができれば良いと考えています。また、従来からある地域の関係団体との連携も併せて、地域ぐるみで子どもを育てるしくみを充実させていきたいと思えます。そのためにも、「熟議」の回数や参加者、内容等を見直し、より実効的な取組につなげるとともに、地域の方々に周知する広報活動にも力を入れる予定です。こうして、「川中中校区ふるさと協育ネット」がより充実するように、知恵と汗を出し合っていきたいと思えます。